

ワークショップの意見概要

(1) ワークショップの開催

2025年7月6日に開催しました公共施設配置適正化計画の改定に向けたワークショップ「これからの明石の公共施設について考える」では、21名の方が参加され、これからの公共施設について、安全・安心の確保や複合化・集約化、多目的でよりたくさんの人が集まれる場所とするなど、さまざまなご意見を頂きました。



ワークショップ
これからの明石の公共施設について考える
 公共施設を将来にわたって安心して使用いただくため、施設配置等の方針を定めた「明石市公共施設配置適正化計画」を令和7年度に見直します。
 「明石の公共施設」の今後のあり方について、みんなで一緒に考えませんか。

2025 7.6 (日) 14:00-16:00

場所 明石市役所南会議室棟2階 旧食堂スペース
定員 40名（応募者多数の時は抽選になります）
対象 どなたでも
申込 7月3日（木）午後5時まで
 申込みフォームから申し込みを

明石市民会館 **市営住宅** **明石駅前立体駐車場**

問い合わせ先
 明石市 財務室公共施設担当
 zaiken@city.akashi.lg.jp
 078-918-5086
 078-918-5125

ワークショップの開催案内



ワークショップの様子

参加者がグループに分かれ、以下のテーマをもとにそれぞれが意見を出し、参加者同士が対話により相互理解を深めつつ、各意見を付箋や用紙に書き出し、参加者全員で共有しました。

(ワークショップのテーマ)

- ① よく利用する公共施設は？
- ② 公共施設のこれまで、これからについて思ったことは？
- ③ これからも特に大切だと思う公共施設とは何ですか？
- ④ 枠にとられない活用方法など自由な発想で提案して下さい。
- ⑤ （全体まとめ）これからの公共施設は〇〇していこう。
- ②④⑤の主な意見を次ページ以降に記載

03 計画策定の背景・目的等

(1) 策定の背景

1960年代後半から人口が急増し、1970年代から、学校・文化施設等の公共施設を整備してきました。これらの公共施設は老朽化が進み、建替えの時期を迎えますが、財政状況などから、全ての公共施設を建替えることは難しい状況です。将来を見据えた建替えや、統廃合・長寿命化など効率的・効果的な公共施設の配置適正化を行う必要があります。

(2) 策定の目的

将来に向けて公共施設をどのように配置するかを定め、総合的な管理を行うことにより、将来的に持続可能な施設運営を図ることを目的としています。



ワークショップの説明資料(抜粋)

(2) ワークショップにおける主な意見

- ② テーマ「公共施設のこれまで、これからについて思ったことは？」に対する意見
- 公共施設の課題
知名度不足（公式 LINE、イベント情報）、活用が低い（選挙以外での利用）、市が公共施設を運営することの必要性、広域連携
 - 情報発信
SNS や口コミを活用した施設に関する情報発信の必要性
 - 施設運営の改善案
施設のコンセプトの明確化や柔軟な使い方（利用方法の見直し）、使用料の適正化、市民ニーズへの対応、施設の配置（複合化や集約化）
 - バリアフリー対応
障害者への配慮、交通利便性やバリアフリーへの対応
- ③ テーマ「枠にとられない活用方法など自由な発想での提案」に対する意見
- 利便性向上と施設連携
マイナンバーカード利用拡大、カフェやキッチン設置、工房や宿の提供、シェアオフィスによるスペースの提供、備蓄品と防災倉庫整備、民間とのコラボ
 - 意見収集と使用状況等の見える化
意見 BOX 設置と公表、ネット予約導入による使用状況の見える化
 - 魅力的な施設づくり
子育てに結びつけるなど魅力的な施設整備、将来への投資的視点
 - 交流と学びの場
交流スペースや勉強スペースの整備、コミュニティ機能のある図書館
 - 施設の有効活用
複合化と集約化、多機能化（時間帯別の用途設定）
 - サービス向上と地域交流
夜間開放、カラオケや映画館などの設置による地域交流の場の提供
 - 柔軟な施設利用と情報発信
未使用の会議室等を活用するための情報発信、SNS を活用した施設利用案内、一人でも利用可能な場所の提供
 - 社会課題への取組と施設活用
子ども向け遊び場の設置による子育て支援、老人ホームとの連携、保育所から老人ホームへの転用
 - 財政面と施設運営の効率化
民営化による歳入増加と歳出削減による施設運営の持続可能性の確保

⑤ テーマ「これからの公共施設は〇〇していこう」に対する意見

・財産の保護と共有

みんなの財産を守り育てる、空間等を共有する

・安全・安心で楽しい施設の提供

・公共施設の活用と利用促進

施設で活用できるスペースの見える化、集約化・多機能化を進める、無料で集まれる場所の提供、子どもや中高生などが気軽に集まれる場所の提供、民営化・地域付託の推進

・施設管理と財政収支の見直し

公共施設の維持管理への市民参画などの取組の必要性、安全確保と利用ニーズへの対応、施設の再編（ソフト事業も含めたスクラップアンドビルド）

当日の全体のまとめとして「これからの公共施設は〇〇していこう」の板書

